民報 おうしゅう 読者版

発　行
赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24−2021
Fax 24−2049



本当に大丈夫なの？
庁舎、保育施設を一括で５年間、民間事業者に委託！？

６月議会で、市庁舎（本庁舎、各総合支所の５施設）と幼保施設（いずみ保育園、江刺ひがしこども園、田原保育所、前沢北こども園、あゆみ園の７施設）の清掃、修繕（原則２００万円以下）、巡回点検など15業務を民間事業者に５年間一括して委託する予算（包括管理業務委託契約を結ぶ債務負担行為）を可決しています。

日本共産党市議団は、この委託契約について、懸念される問題について質しましたが、改めて担当課から対応について20日、聞き取り調査（左の写真）を行いました。その様子を紹介いたします。

【指摘されている問題点】

①民間委託によりコスト削減が優先され、清掃の頻度や修繕の質などサービスが低下する可能性がある

②大規模な包括委託は、経営基盤や実績が豊富な大手事業者に有利に働き、これまで個別の小規模な業務を担ってきた地元の中小企業が参入の機会を失う可能性がある。

③外部委託により職員が施設の劣化状況の確認や修繕の要否を判断する機会を失い、施設に関する技術的な面での専門性が失われる懸念がある。

④業務全体を管理する経費や下請け業者への再委託する中間マージンが発生し必ずしも全体のコストが削減されるとは限らない。



聞き取り調査では、二階堂純財政部長、菊地昭宏財産運用課長、担当職員から「包括管理業務仕様書(案)に基づき説明がありました。

①「管理情報の共有」のため月１回定例会を開き各業務の計画対応について協議する。受託業者は不具合の通報を２４時間３６５日受付できる窓口を設置する。

②「市内業者の活用」として、奥州市の指名業者を積極的に活用することを求め、契約時の審査点数を大きくする。市内事業者の活用の件数、金額等月１回以上報告を求める。

③技術職員は、継続して配置し、いずれは、各部局の設計や監理技術者等を集約することを考えている。

④市職員の業務負担（契約事務等）が軽減され、修繕予算の効果的配分ができる（役所で行うことが求められる事務等が不要になる）など、負担軽減が先進地の導入事例で示されていると説明にとどまりました。

日本共産党市議団の一般質問は次のとおりです



千田美津子議員

○質問は９月１日午後３時頃から

１．多発する自然災害への対応と準備状況について
２．安心して住み続けられる奥州市の医療の在り方について



佐藤美雪 議員

○質問は９月２日午後１時頃から

１．どこに住んでも安心して介護を受けられる体制づくりについて
２．自衛官対象者名簿の提供について
３．（仮称）奥州市地域医療グランドデザインについて



千 葉 敦 議員

○質問は９月３日午後２時頃から

１．地域経済振興のための条例制定について
２．加齢性難聴者等への支援策について



今野裕文 議員

○質問は９月４日午後３時頃から

１．市政運営の在り方について
２．米価の暴落による影響並びに対策について

23日「平和のつどい」開催される

「私たちが平和をつくる主人公」

８月23日、水沢地区センター多目的ホールで、「２０２６ 平和のつどい」（主催：２０２６平和のつどい実行委員会）が開催され、80名を超す方々がつどいました。

戦争を止める！憲法守る！ ～私たちが平和をつくる主人公に～ 」と題してシンポジウムが行われ、終了後に、西環状線でスタンディングでのアピール行動が展開されました。（写真上：会場の様子、写真下：環状線でのスタンディング）



